

東議員（民主県政会）

令和3年2月26日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）県教育委員会における新型コロナウイルス感染症への対応について  
コロナ禍において、「知・徳・体のバランス」はどのように行われているのか、教育長の認識を伺う。

また、ピンチをチャンスに変えるため、子供たちへのメッセージを、併せて教育長に伺う。

（答）

学習指導要領は、「知・徳・体」のバランスのとれた「生きる力」を子供たちに育むことを目指しており、広島県の「学びの変革」におきましても、「主体的な学び」の重要な要素であると認識し、日頃の教育活動を進めているところでございます。

各学校では、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえつつ、例えば、

- ・ 各教科等において、一人一人の定着状況を確認しながら丁寧な指導を行うとともに、
- ・ 道徳の授業では、コロナ禍における人と人とのつながりの大切さを実感させたり、
- ・ 体育の授業では、ソーシャルディスタンスを保って、楽しみながら運動量を確保したり、
- ・ 学校行事につきましても、文化祭や体育祭を中止することなく、3密を避ける工夫を児童生徒が主体的に考えて実施したりするなど、

児童生徒の学力の保障だけでなく、心や体の育成にも取り組んでおります。

県教育委員会といたしましては、今後も、学校及び市町教育委員会と密接に連携を取りながら、児童生徒の確かな学力や心身の健康を身に付けさせる「知・徳・体」のバランスの取れた取組が適切に行われるよう支援してまいります。

広島県の子供たちへの私からのメッセージでございます。

幼児児童生徒のみなさん。この1年を通して、みなさんの身の回りにも大きな変化が生じていると思います。

コロナ禍は辛い状況ではありますが、時代の転換期であるとも言えるのではないのでしょうか。

人は、これまで当たり前であったことが当たり前ではなくなったとき、「幸

せとは何か。」「人間はどうあるべきか。」という問いに真剣に向き合い始めます。

予測困難な未来社会においても、自分の夢を描き、それを実現できるよう、挑戦し続けてください。

皆さんの挑戦を、私たち大人も全力で応援いたします。